（様式１）

平成３０年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

| 所 属 名 | 佐世保市立山手小学校 | 作成者 | 職名 | 教頭 |
|---|---|---|---|---|
| 電話番号 | （０９５６）２４―７４４４ | | 氏名 | 永柄　孝知 |

１　年間の実施内容（取組状況・実績等）

| ４月 | 実施テーマ | 飲酒運転の根絶、体罰の根絶、セクハラ・わいせつ行為の禁止 |
|---|---|---|

・具体的な処分事案について、全職員に職員会議で確認し、服務規律が緊急で重大な課題であることを確認し、職員の意識の引き締めを行った。
・テーマに沿った不祥事未然防止のためのセルフチェックにより、服務規律の確保に対する意識を高めた。
・児童に対する情報の共有化と指導体制を整備し、感情に流されず、複数職員で対応することを確認した。

取組状況チェックリスト

☑　不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。
☑　職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。

取組の評価・改善点

・教職員への信頼を失墜させる緊急事態であることを、年度当初に確認し共有することは，服務規律及び法令順守の意識を高める意味においても効果があったものと考える。また、これまでに配布されたコンプライアンス通信を用いて、どのような問題が起きるのかを改めて確認することで、服務規律に対する意識の向上が図られた。

| ７月 | 実施テーマ | 飲酒運転の根絶，公金等の不正処理の防止，情報セキュリティー対策の徹底 |
|---|---|---|

・不祥事根絶のための研修資料【４訂版 H29.4】から事例研修等を行い、信用失墜行為について改めて確認する場を設けた。
・飲酒運転事案の原因やそれに伴う処罰、社会的影響を話し合う場を設定し、「ちょっとくらい」の心の隙が、そんな結果を招くかを共通理解し、絶対に飲酒運転はしないことを確認した。
・公金等の処理は、複数体制で考査及び監査を行った。また、給食費や教材費の受け渡し・管理を再度話し合い，慎重に行った。
・情報セキュリティー対策の徹底に関する事例をもとに，問題点，原因，影響などについて全職員で話し合い，防止意識を図った。

取組状況チェックリスト

☑　不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。
☑　職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。

取組の評価・改善点

・日常生活の中から，不祥事につながる場面を話し合い，それを防ぐにはどうすれば良いのか細かく話し合うことで，法令順守意識を高めることができた。不祥事における経済的損失及び社会的責任を理解し，慎重に行動しようとする意識を高めることができた。

| １２月 | 実施テーマ | 飲酒運転の根絶　情報セキュリティー対策徹底　体罰の根絶 |
|---|---|---|

・不祥事根絶、特に体罰についての資料を作成し、どんなときに体罰を行ってしまうのか改めて確認する場を設け、アンガーマネジメントの方法について共通理解を行った
・免許証の有効期限の確認を通して，安全運転の啓発を図った。

取組状況チェックリスト

☑　不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。
☑　職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。
☑　他人事ではなく、自分事として不祥事事案を捉えることができる取組だったか。

取組の評価・改善点

・具体的な交通事故事案を参考に、職員の安全運転意識の向上についても，飲酒運転の根絶とともに指導を行った。

## ２　服務規律委員会

| | |
|---|---|
| 委員会名 | 山手小服務規律委員会 |
| 構 成 員 | 所属内委員（６名　構成員：校長，教頭，教務，生活指導主任，養護教諭）<br>外部委員　（１名　役職等：ＰＴＡ会長　） |
| 活動内容<br>（主なもの） | ・年間計画についての話し合い<br>・年間計画の振り返り（反省） |
| | 活動内容の評価・改善点<br>・コンプライアンス通信の活用，テーマに沿ったセルフチェック，事例研究，不祥事における精神的・経済的損失例の紹介など，毎年同じような研修内容になるが，それだけ教育現場の信用が失われ、それに伴う子どもたちへの影響を考えると、研修会をもっと自分事をして考えることが必要である。 |

## ３　年間を通しての計画の達成状況

年間を通しての取組状況チェックリスト

☑　不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。

☑　職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

年間を通しての取組の評価・改善点

【評　価】

・服務規律の厳守について学校の取組や個人の行動を再度振り返ることができた。また，コンプライアンス，不祥事根絶についても意識の高揚と実践の深化，教職員としての自覚と使命感の高揚を図ることができた。

【改善点】

・関係機関と連携し，具体的な研修会（時宜にあった講話）を設けたいと考える。

・内容が画一化し、当然であるという意識はあるものの自分事として捉えるため、具体的な内容であったり、どんなときに起こすかをロールプレイで検討したりする場を設けていく。

■　管理職員による職員に対する指導状況

（不祥事発生に伴う「綱紀の保持」の通知があった場合のみ）

① 指導年月日：平成３０年８月９日（通知日：平成３０年８月３日）

指導の内容

・全職員への通知文の配布　・教育公務員として自覚ある行動に徹するよう校長講話

② 指導年月日：平成３０年１０月１８日（通知日：平成３０年１０月１５日）

指導の内容

・全職員への通知文の配布

・不祥事事案と他人事とせず、教育現場が危機的状況であることへの理解

・「わいせつ・セクハラ」に関わるチェックリストの活用

・教職員としての信用失墜行為についての校長講話

③ 指導年月日：平成３１年２月２１日（通知日：平成３１年２月１９日）

指導の内容

・全職員への通知文の配布

・不祥事が続くことへの危機感をもって我が身を正すよう校長講話

| 資料添付 | 有　・　㊙ |
|---|---|